

清水町

野中 智成

1. 概要

1.1 地名の由来

清水町の名前の由来はアイヌ語の「明るく清らかな川」を意味する「ペケレベツ」を達訳したものである。1899年に開設した「ペケレベツ駅逓」の村山取扱人である和十郎が、人舞村、屈足村を直轄していたのだが、駅名と一致せず行政、経済面で不便なため、1927年9月25日に清水村に改められ、1936年1月1日より町制が施行され「清水町」になった。

1.2 歴史

1898年、十勝開墾合資会社熊牛牧場に26戸99人が入植し、初めて開拓の鍬が打ちおろされ、十勝の自然の恵を豊かに受けて誕生した。以来、先人のたゆまない努力によって幾多の試練を克服しながら急速な発展を続け、1903年6月開村、戸長役場をおいて人舞村と称し、1904年落合・釧路間の鉄道開通によって来住者が増加し市街地が形成された。1920年、日本甜菜製糖株式会社清水工場の設立によって急激に発展し、1923年に1級町村制を施行、1927年に清水村と改称した。1936年、町制を施行、1956年御影村と合併して面積人口が増加、新町建設計画のもとに農畜産、土木、建築、学校、社会教育、商工業の振興、社会福祉の諸施策を進め充実させるとともに、既設の雪印工場、日甜イースト、ペーパーポット工場に加えてプリマハム、成井農林、ホクレン製糖工場などの大規模工場の誘致をみて数多くの工場を持つ町となった。1960年10月、明治からの夢であつた道東と道南を最短コースで結ぶ日勝道路の開通、更には1991年の石勝樹海ロードの開通、1995年には北海道横断自動車道が開通し、十勝の玄関口としての役割は益々重要化しており、今後は更なる発展を目指している。

1.3 町木、町花、町鳥

町木、町花、町鳥は清水町の地域でよく見られ、親しまれているものである。中でも町鳥であるウグイスは下記に記述している「ウッチャン」という清水町のキャラクターが作

図1 清水町の位置



出所:清水町商工会 HP

られるほど親しまれている。

画像1 町木、花、鳥



出所:清水町 HP

1.4 町章・カントリーサイン

六角形は清水の「水」を表わし、中央に「清」を配して、図案化したものである。清水町のカントリーサインの鳥は町鳥であるウグイスが元となっている。町民からは「ウッチャン」と呼ばれ親しまれている。そして町鳥が咥えている花は町花であるすずらんである。また

2. 地理・気候

2.1 地勢

清水町は、十勝振興局にある町で上川郡に属している。東経142度45分～143度2分、北緯42度50分～43度7分。面積は402.18km²。清水町は十勝管内の西部に位置し、日高山脈が南北に走り、剣山、キウサン岳、芽室岳、ペケレベツ岳などの山系を頂点として、十勝川に向かって緩い傾斜をなしている。ペケレベツ、ヌプチミップ、メムロ、キウサンの各河川と本町の中央を流れる佐幌川、いずれも十勝川に注いでいる。地質は、第4紀新層の湖成沖積、扇状及び第4紀海成洪積、湖成洪積扇状土からなる緩傾斜地と、おおむね平坦地で肥沃であり、農耕に適しているといえる。そのため畑作が盛んである。

図2 カントリーサイン



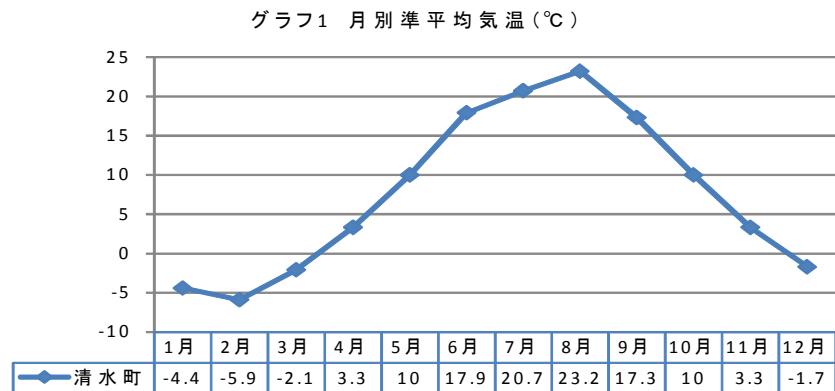
出所:北の道ナビ HP

図3 清水町町章



出所:北海道庁 HP

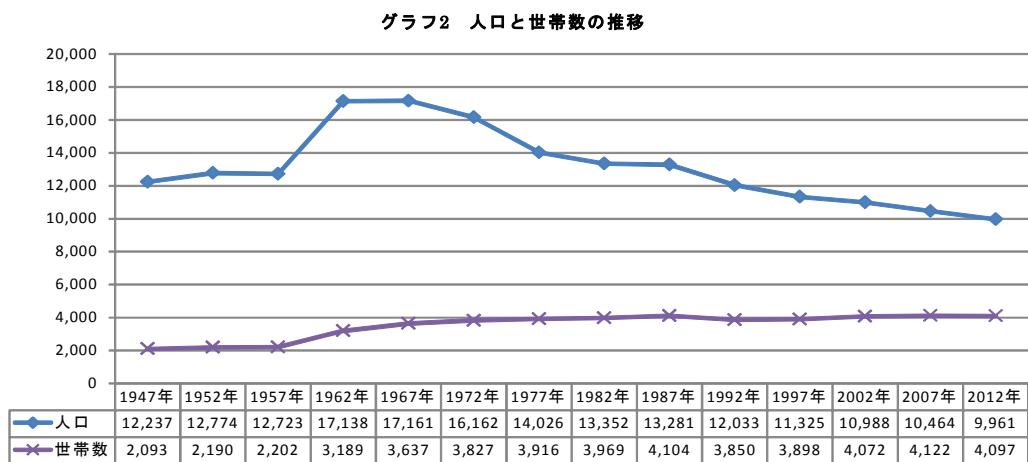
2.2 気候、気温



出所:清水町HPより筆者作成

気温が12月から3月までにおいて氷点下を下回っていることから冬場は寒冷な地域といえる。その後、徐々に平均気温が上がっていき、8月がピークとなる。しかし、ピークといつても平均気温30°Cを超えることはなく、酪農に適した言えるのではないか。同時に畑作にも適した気温といえる。一般的に晴れの日が多く「十勝晴れ」といわれている。また、月別平均気温では30°Cを超えてはいないが、8月の数日間30°Cを超える真夏日があり、1月、2月には-20°Cを下回る日があり、年間の最高気温と最低気温の差が大きい。

3. 人口と世帯数



出所:北海道庁HP「過去の国勢調査」より筆者作成

人口は1957年に一気に増加する。しかしその後は徐々に減少していき、2012年にはついに1947年を下回ってしまった。世帯数はやはり1957年に増加する。しかし人口と違い、減少はしておらず、1982年から2012年まで4000戸代を維持している。これらから増えた人口のうち、若い世代が市街地など入り、残された高齢の世代が主に住んでいるのではな

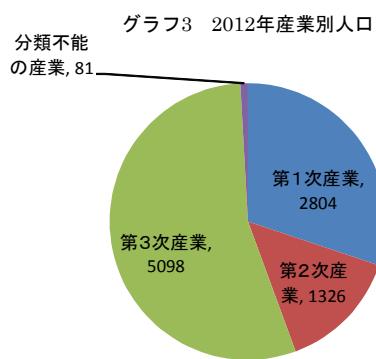
いだろうか。これなら世帯数が減っていないことにもうなづける。

4. 産業

4.1 産業別割合

割合に直すと第一次産業従事者が 30%、第二次産業従事者が 14%、第三次産業従事者が 55%、分類不能の産業従事者が 1%となっている。第三次産業に従事している人間が多い。しかし第一次産業も全体の 3 割を超えていることにも注目したい。第三次産業の中でも小売業に従事している人が 612 人と多い。第一次産業のほとんどが農業従事者

で海に面していないため漁業は活発ではない。また、第二次産業の中でも製造業従事者が多く、近くに大きな工場があることが推測できる。



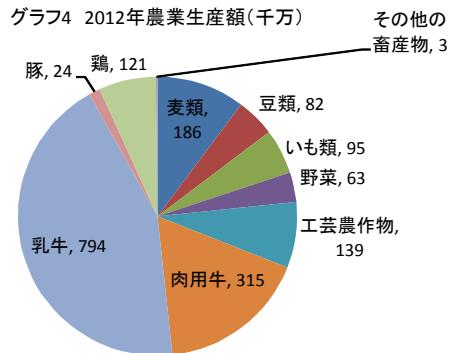
出所:北海道庁 HP 「過去の国勢調査」より筆者作成

4.2 農業生産額

2012 年の全体的な生産額は 1828 千万円。割合に直すと麦類 10%、豆類 5%、いも類 5%、野菜 3%、工芸農作物 8%、肉用牛 17%、乳牛 44%、豚 1%、鶏 7% で、畜産が盛んなことがわかる。麦類では主に小麦を作っており、豆類は小豆と大豆を作っているが、小豆が

出所:農林水産省 HP 「わがマチ・わがムラ」より筆者作成

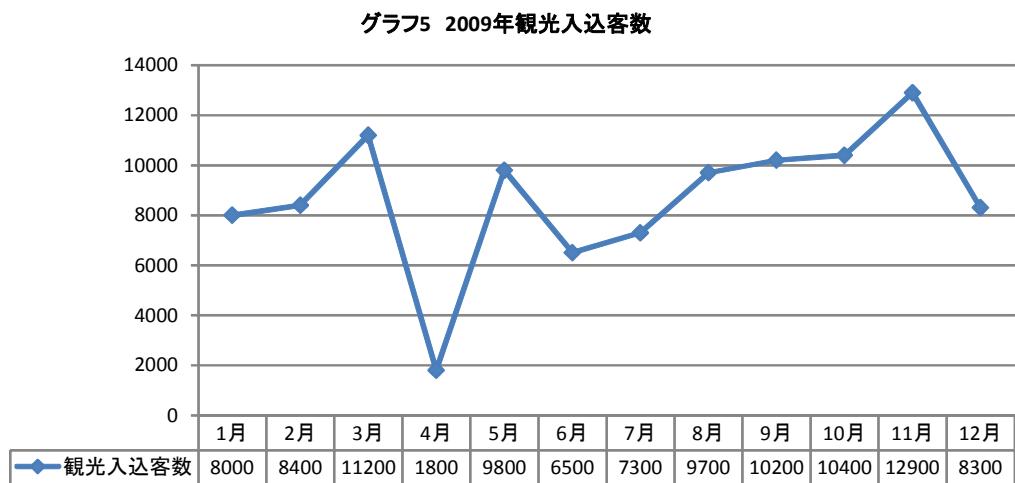
生産数が 2400t、大豆が 611t と大豆より圧倒的に小豆の方が割合は高かった。またビートの生産数も高く、114800t となっている。またニンジンやトウモロコシ、カボチャなどを中心に作られていたが、最近はキャベツやアスパラなどの野菜も作られている。工芸農作物も全体の四分の一を占めているが盛んなのがわかる。また牧草ロールの収穫量も 211500t と多い。これはこの町が畜産でも有名だということを表しているのではないだろうか。鶏は食肉用としてでは



なく、食用卵を収穫するために育てられていて、鶏を飼育している清水町の農家全てが食用卵を目的としている。

5. 観光

5.1 観光入込客数



出所:十勝総合振興局 HP

スキーのシーズンの始まりと終わりに観光客が集中する傾向がある。そのため、3月には2月に比べて3000人以上観光客が増加しており、スキーができなくなった4月には観光客が大幅に減少すると推測できる。また5月には気温が温かくなってきてパークゴルフに通う観光客が多くなるため観光入込客数が5倍近くになると思われる。そして5月以降は川下りや山登りをするために観光客が徐々に多くなっていくのであろう。

5.2 観光名所

5.2.1 清水公園

所在地は日勝峠の麓にあり、公園内にある川で季節によってはボートが楽しめる。しかもただボートに乗って楽しめるだけではなく、ボートに餌をつけ、それを追つて鮭がボートを追いかけてくるというほかではめったに楽しめない経験ができる。そして清水町を代表とする雄大なコースのパークゴルフ場を完備しており、多くのパークゴルファーが訪れる。また上級者向けコースと初心者向けコースの両があるので、あらゆるあまりパークゴルフが得意ではない方や少し腕に自信がある方な

画像2 清水公園



出所:十勝清水観光協会 HP

ど様々な層が楽しめる設定である。

5.2.2 美蔓パノラマパーク

残雪の日高山脈、農村景観、夕日がすばらしい。どこか寂しさの感じられる農村、日高山脈に部分的に残っている雪が夕日に照らされ、ノスタルジックな風景が人気の理由である。日高山脈の端から端を見渡せる景色はこここの展望台のほか以外ではなかなか拝むことができないのではないだろうか。また畑のパッチワークを見渡せるのも人気の一つであり、デートスポットとして訪れても失敗はしないスポットである。

画像3 美蔓パノラマパーク



出所:十勝清水観光協会 HP

5.2.3 芽室岳

「芽室岳」という名前だが、じつは清水町にある山である。標高は 1754m で高さが 350m の東京スカイツリーを 5 つ縦に重ねた時の高さとほぼ同じである。西方分岐を左に曲がると日高山脈と十勝平野が見下ろすことができ、登山者の楽しみの一つとして数えられている。また登山道には赤エゾ松の植林地となっており、これが成長したころにはこここの見どころの一つと数えられるに違いない。

画像4 芽室岳



出所:十勝清水観光協会 HP

5.2.4 ムーミン牧場

かわいい子馬といっしょに遊ぶことができる。成馬や体長 50cm の超ミニホースが約 50 頭いる。テレビ番組にも出演しているので知名度が高い。敷地内に自然に恵まれた谷があり、森の中を小川が流れていって、まさに童話の「ムーミンの谷」の風景の中に迷い込んだ気分になれる。営業時間は 9 時から日没までとなっている。

画像5 ムーミン牧場



出所:十勝清水観光協会 HP

画像6 十勝千年の森



出所:十勝清水観光協会 HP

5.2.5 十勝千年の森

世界的ガーデンデザイナーのダンピアソ氏が設計した 4 タイプのガーデンや野山を走るセグウェイツアーや乗馬、ヤギとのふれあいコーナーなどを楽しみながら雄大な十勝の自然を堪能できる森。国産では珍しい安全なヤギチーズを食べることもできる。敷地内ではオノヨーコなどの世界的に有名なアーティストの作品の数々を見ることができる。

イベント

5.3.1 冬ほたる～真冬の夜の幻～

2月の上旬に行われる祭り。午後6時頃から清水町役場前にある清水町中央公園で、約1000個以上のキャンドルに火をつけ、幻想的な風景を映し出す。ほのかに雪の中で光るキャンドルの光を、真冬の螢にみたてている。また、1夜しか開催されないので、機会を逃さないように注意したい。

画像7 冬ほたる～真冬の夜の幻～



5.3.2 全十勝清水やきもの市

全道から多数の窯元が清水町に集まり、やきもの市を開く。陶芸作品が多数あるので陶芸好きにはたまらない祭りだろう。ほかにも、陶芸体験や無料お菓子サービス、さらには町内のお店のクーポン券配布など様々なサービスがある。場所は十勝清水駅の隣にある清水町イベント広場で行われるようだ。

画像8 全十勝やきもの市



出所:十勝清水観光協会 HP

画像9 清流まつり



出所:十勝清水観光協会 HP

5.4 特產品

5.4.1 あすなろ牛乳

独自のリサイクル農業方式を取り入れ、自然で高栄養価の牧草を与え、生産された牛乳。また生乳を生産し、加工したムースや飲むヨーグルトなども有名。おいしさの秘密は科学の力に頼らないこと、牛たちにストレスを感じさせないことらしい。



出所:あすなろファーミング HP

5.4.2 牛トロ

清水町で育成された新鮮な牛肉を加工したもので、牛トロ丼、牛トロ寿司、牛トロステーキなどとして食される。機能性の高い脂肪酸を持った低コレステロールのくせのない肉と評判が高い。なお、生で食べても臭みやしつこさがないのは牛を自由気ままに育て、品質のいい牧草を使っているからだ。

画像 11 牛トロ



出所:十勝清水観光協会 HP

5.4.3 ハーモニーエッグ

ハーモニーエッグとは甘みがあり、生で食べてもおいしいいたまごのことである。そば、にんじん、黒ゴマなどを餌として与えて育てた鶏からとれる赤卵。ほかにも、ベータカロチンが普通の卵の 3 倍のキャロットエッグというものもある。キャロットエッグは天然のにんじんを特別に餌として与えるため、ベータカロチンが多くなるのだ。

画像 12 ハーモニーエッグ



出所:十勝の食卓 HP

5.5 その他

5.5.1 第九の町

清水町は全国市町村で初めてベートーベンの交響曲第 9 番を合唱した町であり、「第九の町」という別名をもっている。今でも町民は 5 年に 1 回程度町民が集まって合唱している。

画像 13 第九合唱



出所:北海道芸術高等学校 HP

5.5.2 アイスホッケーの町

1932 年から歴史のあるアイスホッケーは清水町の小学校、中学校、高校で盛んで全国 2 位にもなったことがある。アイスホッケーが盛んなため北海道で最初に国際規定を通過したアイスアリーナがある。この本格的なアリーナにはアイスホッケーの防具の無料貸し出しサービスがあり、幼児から大人まで無料でアイスホッケーを楽しむことができる。

画像 14 清水町アイスアリーナ



出所:清水町移住促進協会 HP

参照 HP

- ・ 北海道庁 HP:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/7>
- ・ 十勝総合振興局 HP:<http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・ 清水町 HP:<http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/kankou/>
- ・ 北の道ナビ HP:<http://northern-road.jp/navi/>
- ・ 清水町商工会 HP:<http://www.do-shokoren.or.jp/shimizu/>
- ・ 農林水産省 HP:<http://www.maff.go.jp/>
- ・ 十勝清水観光協会 HP:<http://tokachi432.net/>
- ・ 北海道芸術高等学校 HP:<http://www.hokugei.jp/>
- ・ 清水町移住促進協議会 HP:
<http://shimizu-iju.com/index.php?%E6%B8%85%E6%B0%B4%E7%94%BA%E7%A7%B>
B%E4%BD%8F%E4%BF%83%E9%80%B2%E5%8D%94%E8%AD%B0%E4%BC
%9A
- ・ あすなろファーミング: <http://asunaro-farming.co.jp/>
- ・ 十勝の食卓: <http://agricenter-obihiro.jp/food/produce/1206005>